

# 今年の夏は暑かった

2023年の夏は、猛暑日の日が多く、畑作業にはつらい夏でした。

## 猛暑日が続きます

今年は、梅雨の開けた7月後半から8月にかけて、今まではほとんど見られなかった、最高気温が35℃を超える猛暑日が、現れるようになりました。世羅町の気象データを見てみると、猛暑日が7月に2日、8月は5日ありました。

最高気温を変えて集計してみると、

34℃以上の日が、7月は5日、8月に10日。

33℃以上の日が、7月に8日、8月は15日あり、8月は、月の半分が33℃以上の真夏日でした。

また、平年値からのずれを見てみると、

最高気温が、平年値より高かった日数は、

7月で22日、8月は23日、

最低気温では、7月が23日、8月が28日とほぼ毎日、平年値より高くなっていました。

今年と、直近の暑い夏(2020年)の最高最低気温のグラフを見比べてみると、今年は平年以上の気温の日が多いことがよくわかります。

## 日中は冷房のある部屋で

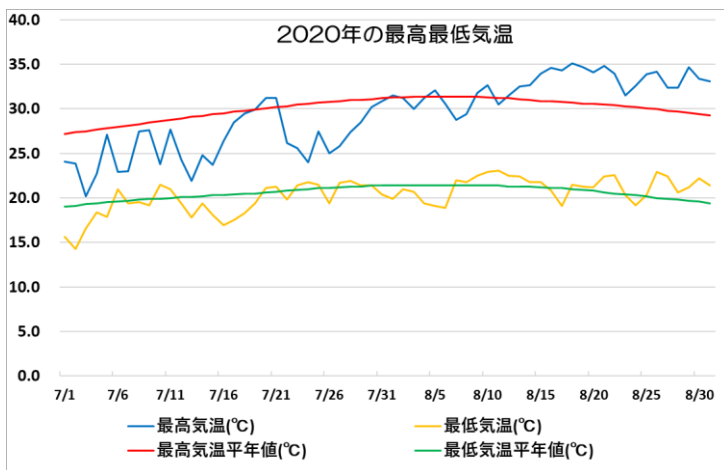
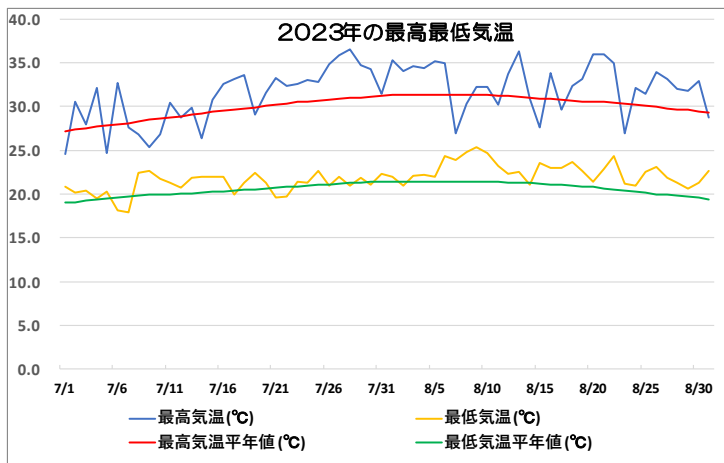
晴れている日は、9時を過ぎるとハウスの中は40℃以上になって、作業をするのが難しくなります。そこで、早朝からハウスでの作業をした後に朝食。その後、野菜セットを仕上げた後に遅い昼食をとって、夕方まで冷房のある部屋で事務仕事などをした後、気温が下がる夕方から再度畑作業と、作業方法を工夫して、今年の夏をなんとか乗り切りました。

## 畑が乾燥して大変

7月・8月は、気温が高く雨量も少ないので、ハウスだけでなく、露地の畑にも灌水が欠かせません。今年は気温が高いので、いつもより頻繁に水やりをしています。

ナス、キュウリ、冬瓜、落花生、枝豆、里芋、ネギなど、水切れにならないよう3~4日おきに灌水をしています。

これから、大根の種まきや白菜苗の定植が始まりますが、粘土質の畑の土は乾燥して、カチカチに固まっているので、トラクターで畝を立てるのにも手間と時間がかかります。土砂降りではなく、適度な雨が降ってくれると助かるのですが。



猛暑日の日数						
年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	今年
7月	1	0	0	0	1	2
8月	0	0	1	1	0	5

